

Refillふくしま活動紹介

○Refillふくしまとは？

「Refillふくしま」は、福島県内でマイボトル・マイ容器を使いやすくすることで、プラスチック等の使い捨て容器の利用を減らし、環境負荷の低減と魅力的なまちづくりを推進する団体です

- (目標) ①マイボトル・マイ容器の推進 ②プラスチック使用量の低下
(スローガン) ○自分達の力で福島・東北をより魅力的なまちに変えていこう！
OSDGsを考え、社会貢献をしよう！

マイボトル・マイ容器 メリット

- ・お金の節約になる
- ・環境負荷を軽減できる

○活動の背景

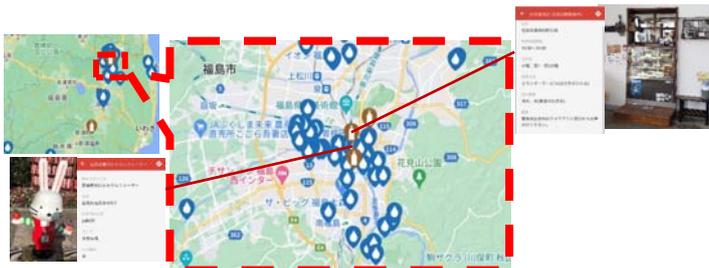
プラスチックの大量消費は、**環境への負担が大きい**
海にプラスチックが流入することで、**海の生態系が崩れて人類にも悪影響を与える**
⇒プラスチックの利用を減らす行動を起こそう！

○私たちの声

地球を持続可能なものにするために、手間がかかるかもしれませんが、**マイボトルやマイ容器を持ち歩き、給水スポットの利用やRefillの活動に積極的に取り組みましょう！**

○これまでの活動内容

- ・Refillふくしま立ち上げ
- ・給水スポット情報の収集・登録



上図の の箇所が登録した給水スポット（水の補給ができる場所）、そこにカーソルをあてると、場所や利用可能時間等が表示される

- ・給水スポットの情報でペットボトル購入量が減少するかなどについてのアンケートを実施し、Refillふくしまの活動の振り返りを行っています
- ・RefillふくしまのSNS開設 各SNSは以下のQRコードより見ることができます

* Twitter



* Instagram



○活動成果とこれから

- ・2023年5月16日時点で、
公共の水飲み場80件、給水スポット協力店舗4件を登録
- ・2023年度の登録目標は、新たに、公共の水飲み場150件、
給水スポット協力店舗10件、マイ容器スポット5件以上
- ・今後、マイ容器スポットの登録に力を入れて活動していきます

○ゼミ紹介:沼田大輔ゼミ

福島大学沼田ゼミは、Refillふくしまの事務局を運営しています。3年生10人、4年生7人で活動しており、環境経済学を学びながら、マイボトル・マイ容器の利用を進める方策について考えています。また、実際に現場に赴き、お話を伺うなど、フィールドワークによっても知見を深めています。



店舗でマイ容器を利用している様子 (上)
Refill Japanのマイボトル (左)

はじめの一步
ペットボトルを繰り返し利用する
家を出る前にお水を一杯飲んでくる



Refill ふくしま ホームページ
<https://www.refill-japan.org/team/refill-fukushima/>

このQRコードから
マップが見れます



協力店を示すミニポスターとステッカー

新聞に取り上げて頂きました！

福島民報新聞、2023年5月23日、社会面



地球いたわるマイ容器
マイ容器スポットの協力店舗
を探す活動が新聞に掲載され
ました。マイ容器スポットの
協力店舗は今後も増やして
いく予定です。ご協力いただけ
るお店がありましたらぜひお
声がけください。



お問い合わせ先：福島大学経済経営学類 沼田大輔研究室
メールアドレス：numata@econ.fukushima-u.ac.jp
TEL：024-548-8423